て御参考に供し御協力を願いたいと

尚、この際次の事項を報告申上け

# まして町民 新年を迎え 御芽出度い げることの 祝を申し上 の皆様へ御

とは心から嬉しく存じます。 惟うに米作を主産業とするわが朝 出来ますこ

栄誉をかち得たことは。われ等町民 様またも富山県下米穀出荷第一号の 作に恵まれ而も大家庄地区が前年同 日町は、昨年幸に害虫の被害もなく あります。 の斉しく誇りと欣快に堪えない処で 台風の難も免れて所謂三年続きの豊

ぁ

利用して増産の用に供して頂きたい に完成して居りますので大いに研究率、予て計画した農業センターも既 の余裕を与えたものとして後年に備 みに酔うことなく今ぞ天が吾に再起 るでありましよう。お互は去年の恵 同様の恵みに会えるとは誰が保証す を忘れること久しい今年もまた前年 つてくる」と申して居ります。凶作 へ善処する処なくてはなりません。 然し、古来「災害は忘れた頃にや

頭

朝日町長 金 森 岭

思います。それは、 勝景を雲表乗物の儘観賞すること 年も引続き二千数百万円の国費を いています。 が出来るという明るい見通しがつ 共に、白馬、 富な山林資源の発開に成功すると 古斧鉞を入れない大森林に達し豊 ただけで遅くとも両三年中には千 投じて越道峠まで僅々三粁を残し 山崎地区の奥地林道ですが、 大蓮華一帯の雄渾な 昨

それにしても、この際地元民三十 情とがしのばれて感謝に堪えませ 年来の苦節と崇高な犠牲献身の至 将来泊駅と両々相俟つて産業文化 所謂一町二駅の宿願が達せられ、 つものとして慶祝に堪えません。 の基盤となり大朝日町建設に役立 また国鉄宮崎駅の新設に依つて

言を俟たぬ所でありますが、わが ると思えば御同慶に堪えません。 朝日町は立地条件に於て開発上絶 計画され、何れも本年中に完了し も巨費を投じて沿岸灯台の新設が のテレビ中継所が一億円余の国費 て堂々たる国際的文化施設が出来 を以つて、又水産庁海上保安部 国策上電源開発の重要性は今更 城山の宮崎鼻には目下電々公社

> ますが、若し之が実現致しますれ な資金を投じて測量を急いで居り 入でない。開発会社の誘致につい られて来ました。恵まれたこの郷 好の適地なりとは最近権威ある学 ば我町の前途洵に頼母敷いものが 笹川筋では目下某有力会社が莫大 の発電は殆んど確定的で、小川、 夫々手配中でありますが、 ては予て町議会総合開発委員会で 土に生を享けた吾等の喜びまた 者、実際家の輿論として確証付け 内境川

> > 南保、大家庄の水泳プールの新設

体育協会の勃興等、

健康朝日建設

職案第一号

途上のわが町として思えば実に

大慶事と言わねばなりません。

尤

議案第二号

とになりました。

強豪チームが華々しく覇を競らこ に挙行され、全国から選抜された 蔵々わが朝日町小山丸グラウンド

第 2 編集兼発行人 朝日町役場内

刷

行1

所

日

部 6

印

発定

代を担う健全な青少年育成の場と迷惑をかけて居りますが、之も次 もグラワンド整備に資金調達の御

V

議案第十五号

議案第十四号

議案第三号

뭉

菅 達 大

8 印刷 1 2 0 日 料 4円

9

两越 毎月 円送

また多分に考慮される訳です。 夫々会社側の熱意に応え遺憾なき 尾の地区にも同様の態制を整えて 発期成同盟会を結成し、笹川、 幸、山崎地区の如きは既に電源開 あると信じます。 ぶことは当然ですが、受入態制も 尤も会社としては採算上適地を選 横

して止まぬものであります。次に 育大会準硬式野球大会も今秋十月 の際是非誘致に成功したいと念願 希くは町民の総意を結集して、 を期して居ります。 待望久しかつた第十三回国民体

昭三二年

一月一三日 **関電黒部川水系調** 所長大野氏来庁 査

七日

黒土改区総代補欠選

八月 総務委員会を開き給 町内会長代表者会議 与条例一部改正の件 挙選挙会を開く

教育委員会開催

九日

文厚委員会、 山崎小

等審職

学校建築について審

二〇日 選挙管理委員会開催

> 思えば強ち虚栄ではなく寧ろ貴 光栄のみでなく、父祖代々の鑒位 殊に、天皇、皇后両陛下の御臨場 特に町民各位の絶大の御声援と御 を慰め、国民的至情を満喫する訳 を仰ぐこともあらば、独り吾等の す。以上蕪辞を述べて年頭の辞に **奮闘を祈つて止まぬ次第でありま** じます。 で、それこそ千載一遇の慶事と存 犠牲と考えるのであります。

二七日 二六日 山崎小学校第二期工 青年模擬議会を開く の他を議決 給与条例一部改正そ 定例議会開催、 職員

昭三三年

二八日

御用納め

事の入札を行う

月 四日 八日 六日 日 名刺交換会於て泊高 消防出初め式 御用始め 校講堂

選挙管理委員会開催 職員組合総会 調整委員補欠選挙に 富山県第一海区漁業

昭和三十三年元且

人権擁護委員のことについて

一、人権擁護委員は、自由人権思想 件の調査教済、貧困者に対する法 のであります。 律扶助らを主要な職務としている の啓発宣伝や、 人権を侵された事

局長より委嘱されている。 人権擁護委員として富山地方法務 朝日町には、左記の二名の方が 蕃氏(山崎辻部落) 弥氏(泊中町の小沢薬局)

地方議会傍聴後の 想 文等の募

又は意見等を募集していますので多 数応募下さるようお奨めします。 場総務課へ間い合されたい。 に引続き、地方議会傍聴後の感想文 なお募集要項等詳細については役 富山県民主政治推進連盟では昨年

第十回定例議会十二月二十日開催

計歲入歲出決算外特別会計決算議案 三、自分が人権を侵されたときは、 十一年度朝日町国民健康保険特別会 歳入歳出決算及び議案第四号昭和三 付託され次回の議会に持越され 九案件は継続審議となり各委員会に 人権擁護委員の方と相談して下さ 昭和三十一年度朝日 朝日町《道笹川 朝日町の職員の給与に り可決された 関する条例の一部改正 付の件は即日原案とお の一部変更に関する件 線の占用許可の件 朝日町財政再建計画 砂防会館建設資金貨 (総務課) 七七号

年寄は、

あたりを密かに見まわす

この

騒ぎの中にも十二人の若い男衆

六五以上

これによつて児童生徒が労働によ

# 躯



# 組 III 0 部

 $(\Xi)$ 

夏のある晩のこと、炭焼衆の寝てい け入ると、東大又という所に十三人 の炭焼衆が毎晩寝泊りしている山小 屋があつた。 て「入山」という山を一里あまりわ 今は昔、村の東、田中部落を通つ 行くではないか。

71

るその山小屋へ、きりよらの良い一

人の若い娘が道に迷つて一夜の宿を

筈はない。 ているから泊めることに異存のある あり、相手が大変美しい若い女とき 十三人のうち十二人までが若い衆で から舌をむしりとつている。そして 唸り声一つ出させずに、男の口の中

請うたのである。

さ

慣であつた)は、この時刻になつて こんな山奥の小屋へ、若い女がさま 分別多い年寄りの男(山小屋では老 がしたのか、泊めるのに強く反対を よつて来たことに、何か不吉な予感 いたるものが入口に近い方に寝る習 方、小屋の入口に寝ていた一人の 中。 男へと移つて、同じことをくりかえ り、にたりと笑をうかべながら次の

あ

のである。 女は炭焼衆と共に寝ることになつた かし数の多い若い衆によつてその

男はやはり何か気になつておちおち つたのである。 眠られない。そのうち夜も更けて一 つすりと寝てしまつた。然し年寄の 初めのうちは、女が来た珍らしさに 同は騒いでいたが、時間がたつに 断も高まる時分、 れてひるの疲れのため間もなくぐ 何か物の気配に目をさましたそ 彼もうとうと眠 命になつているが、

と、寝ていた筈の若い女が、身なり 枕元へと、やや時間をおいて移つて を乱して寝ている若い衆の枕元から

様子を見守つていたが、女のしぐさ の手を男の顔の上へ持つていつて、 附近の様子に気を配りながら、自分 ていると女は一人の男のそばに坐り がよくわからない。ところがよく見 不思議に思つた年寄はじーつとその

**らに舌を喰い始める。** 喰い終るともう一度あたりに目を配 冷やかなそして嬉しそうな笑みを顔 とつた舌を二三度軽く振りながら、 一ぱいにたたえて、いかにもうまそ

夢我夢中で女にとびかかろうとした りの男は、やがて女がつぎつぎと男 がら、そのなりゆきをみていた年寄 ばに近ずくや、アツと叫ぶが早いか 身の毛もよだつ怖しさにおののきな の舌をむしり終つて最後に自分のそ 逃げまどう女をつかまえようと感

た。 られて逃げ場を失つた途端に、突然 そのうちに女は小屋の隅に追いつめ 起きてこない。 大きな鳥に変つて飛び去つてしまつ

そして一人残らず舌が抜かれている みると、悉く冷たくなつていた。 ことを知つたのである。 は身動き一つしない、灯を照らして

心深い年寄りの男だけが助つたので のに、若衆は一人残らず殺され、用 こうして、小娘とばかり思つていた

農家の皆さん産米の声価

られている。

というださり しきさい すんき すしきさい するき すいさい すからす いきぎ くりきぎ くくぎょく くぎさく くきぎ くきぎ くりき 良い包装材料を作りましょう いらようになつた。

俵、米叭の原料は色のよい長いわ いわらを使用して下さい。

▼冬期製作の場合は規格より水目 い 割の余目を加算して製作して下さ らを選択し使用して下さい。

しましよう。 包装資材は次の規格に従つて製作

俵 材料

は三本の強い実子繩を用 ること すぐりわらを用い、あみ棚

寸法

**菰**丈四尺封間三尺一寸

重量 八八〇匁~九二匁

あみ手 七〇手以上

米

若い衆は一人も

生地むしろ 縦目 幅 二尺八寸五分 〇以上

さん俵

あみ手 重量 直径 九〇匁~二一〇匁 三二手以上

一尺一寸

耳長組さ 六尺

> 仕立方 山開

原料わらは良く乾燥した品質の良

当繩 底折込 二分五厘荷造 一寸五分

縫繩 七五〇匁以上 片側三五以上 一分五厘荷造繩

富山食糧事務所朝日出張所

働く子供を育てる 舟 部 落

福をねがつて活動を続けている。 が中心となり、児童生徒の成長と幸 実に進めている。 協力、部落の実態に即した実践を着 て部落懇談会を開き、学校の方針に 即ち定期的に父母と教師が集まつ 大家庄小学校下では各部落公民館

喜んで仕事をさせるには」という問 の力によつて効果をあげている。 与え各自に小遺帳をもたせ部落全体 きな立場から子供なりに能力に応じ 題ととりくみ、農村の多角経営の大 雰囲気のうちに楽しい一日を過した 落一丸の親子運動会を開き家庭的な もいうべきで先般もお宮の境内で部 た仕事の量と時間を考え收入の道を また農業部落として「児童生徒に 中でも舟川新部落はモデル地区と 調

ある、なんでもその若い女というの は、ひねた雉の化身であつたと伝え 蓄に興味をもち喜んで働く風習が養 る仕事の価値を認め、

誰いうともなしに「十二組の坂」と その後、この山小屋のあつた坂道を

向上のため (宮崎村の歴史と生活)より 実施について

えよう。 基盤が力強く生れつゝあるものとい 二月一 われていることは新しい町づくりの 日

農業基本調

のである。 則にもとずく調査として実施するも 並びに富山県農林水産業統計調査規 この調査は、 富山県統計調査条例

調査の範囲 調査の期日において、県内に現在

世帯員中に次の規模以上の農業を この調査において「農家」とは、 営むもののいる世帯をいう。 するすべての農家について行う。

るもの 経営耕地面積が五畝歩以上であ

(2)当するもの つても次にかかげる事項の一に該 経営耕地面積が五畝歩未満であ

(D) (1) 貫以上の收繭高(上繭) 温室を経営するもの 家畜を飼育管理して、 あった 年間五

基準以上飼育しているもの 家畜、家きん及び密蜂を次の

めん羊三頭、鬼一〇頭 二頭、山羊三頭一頭、馬 一頭

鶏二〇羽、

密蜂三群、

査の方法

ます。 回し、面接き」とり調査を行います ので農家の皆様の御協力お願い致し 農業水産調査員が担当区域内を巡

経済生活及貯

第十回成人の日

(3)

四三名で

大家庄 野

四五名 三二名

泊南

三二名

一四名 五九名 六五名

中

希望にあふれた成人は朝日町では四

# 標記感想文を新有権者の皆さんから 感 挙に対する自覚 有権者としての 想 文 0 募

いのであります。 男女諸君に期待するものが特に大き 選挙の公明化を期するには、新しく 有権者となられた人又なられる青年 募集しております。 新有権者として選挙に対する感想 を大いに投稿して下さい。

対

都道府県選挙管理委員会

「新有権者として選挙に対する自

七、

募集要項

記

二、主 に達する青年男女を対象 た者及び昭和三十三年中に満二十才 自治庁 公明選挙連盟 昭和三十二年中に満二十才に達し 感想女の標題

1 祝 3 H た 町 成 JU 四 定

講堂で第十回朝日町成人式が挙行さ 一月十五日午前十時から泊中学校 二三名 宮

連青団長の祝辞があり、 会議長、坂東教育委員長、広瀬朝日 金森町長の

あつた。 大平教育長の式次に始まり、清水議

境笹 四四名 崻

当日式典に参加した者は一七七名で 二九名

激励の辞があつて、成人者の代表と

+

賞状及び賞金

知します

五、応募資格 百字詰原稿用紙五枚以内 二百字詰原稿用紙十枚以内又は四

昭和十二年一月一日から同十三年 昭和三十三年二月十五日 十二月三十一日まで生れた者 締切期日

付消印のある郵送作品は受理しま (当日三十三年二月十五日 (当日 提出先

願いします) (朝日町選挙管理委員会経由の上お 東京都千代田区霞ヶ関一ノニ 自治庁選挙局管理課

八、選

もつて構成する選考委員会が行い 委員会会長及び自治庁選挙局長を 連盟常務理事、都道府県選挙管理 日本新聞協会編集部長、公明選挙 朝日、毎日、 読売新聞社政治部長

九、入選発表

時報に入選者氏名及びその応募作昭和三十三年四月五日付公明選挙 品発表するとともに、入選者に通

境の根建武義君の答辞があつ

年団主催のリクレーションが行われ式典が終了してから、朝日町連合青 の配役、効果土井陽子の諸氏の手に 夫、中陣勲、大森和子、清水百合子 翁助作「長女」で、清水勇、広瀬武 放送劇の実演があり、放送劇は阿木 大家圧青年学級のコーラス、クイズ 式典が終了してから、

> 朝 B 曲J 青年議会

日町青年議会 朝日町連合青年団主催、 朝日町選

富山新聞社 挙管理委員会

対し、自治庁長官が賞状及び次の 入選者中一等から三等までの者に 長に、永井浩 告があり仮議 成君の経過報 員長、水島孝 同議会準備委 開いた。まづ

決定、 を宣し議席を より、議長選 君着席、開会 投票に

協賛で、二十 六日泊高校で

四時半閉会し

れを可決して 大多数で、こ 採決の結果、

演説があり、

当選した。会 に竹内惟子さ 議録署名議員 崎君が議長に 挙の結果、山

よつて行われた。

賞金を贈呈します 応募注意 五、 五、〇〇〇円 000円 000円 二作品 運営委員に、大平範也君ほか七名を 指名、常任委員に総務水島孝成、 会計歳入歳出追加予算など四議案を 厚永井浩、産業川瀬清一の三名議会 指名したのち、昭和三十二年度一般

ついで副議長に道用貫之君を

尾に明記すること。 及び学年を書くこと)を原稿の末 こと、学生の場合は学校名、学部 生年月日及び職業(具体的に書く (ふりかなを附すること) 応募者の住所氏名

説明があつて、

質疑応答に入つた。

一括上程、金森町長から提案理由の

ځ 部に「感想文在中」と明記するこ 優秀作品がない場合には、入応募作品は、返却しません。 感想文封入の封筒の表面左下

(4)(3)

選者がないことがあります。

第一回朝 区制実施に関する決議案」を上程、 計画とその位置、観光計画などにつ れ発言、鋭く当局の所信を追及、 学校の学区制問題について、それぞ て、△支所廃止問題について、 答弁があり、最后に「朝日町大選挙 長外各課長、教育長から、それぞれ について、△売春防止法施行につい 発全般について、△歳入歳出の計画 国体準硬式野球計画予算について、 いて、△社会教育全般について、 △工場誘致問題について、△総合開 先ず、水島議員は役場庁舎改築の △小

両議員の賛成 対演説に対し 明があつて、 提案理由の説 道用副議長の 鍛冶、広瀬、 討論に入り、 川瀬議員の反

下でも始めて年団として県 呼んでいる。 当なる反響を 市町村でも相 の試みで、 会は、単位青 この青年叢 他

業者はこれ等顧客の社会及家庭生活 あり、この環境の下に在る吾々商工 地として誠に恵まれたる立地条件で

に必要欠くべからざる品物を最善を

らねばなりません。

尽して販売提供するの信条を常に守

ますならば消費は生産の母体なので

鞭撻を賜らん事を御願い申上げます

山崎

(六日七日)

産の蔭には消費ありで、云い換え

は、

幸いにも本町は農、

山、海産業

度く念願して止みません。

そゝがれ以て均衝の上に立脚した繁 に於て諸産業と等しく育成の至情を 工業者が町全般の一翼を担います上す、需給の原則に従いました吾々商 当局各位の熱意ある御協力でありま 尚は特に懇請いたし度いことは関係

栄施策の遂行に一層の御協力を頂き

五カ年払い)

ずつ負担したもので

は同地区五百戸が一戸当り三千円へ を町当局から補助してもらい、

工費二百二十万円のらち七十万円

残り

更に常々一段と御留意願い度いこと

者に対し善意と魅力に充ちた吾が町

夫によつて万全の準備を樹て、外来 吾々業者は只今より細心の注意と工 事並好機である本県国体実施による 殊に本年は本町が初まつて以来の盛

部競技場の挙行地である関係上、

の商工業の在り方を示さればなりま

せん。

善進に努めたいと祈念して止みませ

て去りお互が協力し合い団結して行

々は従来の個人主義的な考え方を捨

かねばならぬ方向に機運が立ち至つ

たと存ずるのであります。

つたる気分を持続してよりよき向上

迎えたのでありますからル今年こそ 然しながらこゝに天地一新の歳且を

よき試錬の場∥と致し、

清新はつら

らぬと存じます。

さて年頭に当り静かに過ぎし歳を顧

なつたことを心から御慶び申上げま 朝日と共に目出度く新春をお迎えに

りみるとき、

昨年六月我国の経済界

朝 H 町 商工

連合会長

大家庄

小学校のプー

ル

町民各位並会員の皆様は清々しい 魚 寅

あります。 仮に昨今の市況が低調であるといた 下したと断定するのは早計であり、

とは必然と存ぜられますので要は吾 営の在り方も種々の変革を生ずるこ ともあれ、これからの吾々業者の 思ふのは誠に早計であり、 以て吾々業者が多大の恩恵を蒙ると 実施の運びとなりましたが、これを 国会に於て成立いたし来る四月より る商品の提供こそ吾々業者の盛衰を 常に高くなつて居り、それだけに絶 今日の顧客は趣味嗜好のレベルも非 折を重ねて行くことゝ思はれますが 中小企業団体組織法も第二十七臨時 次に長らく懸案となつて居りました 左右する重要な鍵であると存じます えず研究勘案して消費者を満足させ しても必ずしも消費者の購買力が低 種々の

府の声明する所であり吾々業者は深として持続することは、しばしば政 本年に於きましてもこの政策を依然

く自重緊張して業務に励げまねばな

な年に終りました。

り経済並商工産業界は誠に多事多雑

示され、これに基く施策の遂行によ 国際收支の改善緊急対策が政府より は前々年の好景気とは打つて変つた

年続きの豊作も幸いしてここに実現 泳ぎは子供のときに習わないと一 校のプールは年末に完成した。

を見たものである。 

おぼえられないというわけで、地区 の住氏が小学校にプールを計画、三 昨年十月から着工した大家庄小学 海に縁遠い地帯であるところから 生

重ねて大方諸賢の旧倍の御指導と御 多事である本年もまた最善美を尽し 御多幸を祈り、旁々会員各位と共に 々の研究と方策に一段の努力を重ね 茲に紙上を通じまして顧客の皆様の て参り度い念願で御座います。 て繁栄を求め、共に手をたずさえ種 泊 朝 日 +

## 町 ŀ 3 日 映 客 画

五箇庄(一月三十一日二月一日 旦 (三田四田五日)

# 昭和39年度静末たすけあい運動の結果について

笹宮川崎	境	南保	大家庄	野:		荒し				昭和	a32	年度	き歳	末た	すけあ	いば	重動	の新	果!	こつ	いて	7		
,,,,		• • •	崖		分		否口	地区别		募	集		額		四				分		進援護児童	PH-	-¥-	
子子:	7	7	7	2	· 結及	裁末	項目			金 銭	自	*	大	豆	配分世帯	节金銭	自	米	大	豆	準援護児童 学 用 品 代	備	考	
八日十九日)	四日	二田十川田)	日十一日)	日九日)	は右記	<b>分</b>	境			3,500			合一		32 36	10,850 12,650		1	2,56		合一	500		
八日十七日)	十五日)			1 2	100 1	しり	宮	崻		8,785								2,88		_	-	750		
思思.		E.			: 20 0	見の	泊			37,077		350	-		86	25,550		8,04			-	2,700	人形	2
					でし	品い	Ħ.	箇	庄	7,720		3,00		-	22	6	,200	-	1,76		-	800		
				_ ;	あります	真心こ	南		保	8,702	3	1,30		-	18	6	,150		1,44		-	800		
<b>4 3</b>	2	1		•	す		大	家	庄	5,311		7,32		5	11	2	,850		88		5	850		
ア中国	廃品	次	上野っ		方	よる裁末にナナあ	Щ		崎	3,677		5,80		_	33	11	,250		2,64		-	950		
アワタ	品のゆ	次郎物語	1	١.	, 7	こす	野		中	5,068		30		-	15	5	,750		1,20		-	600		
イムズ	く	韶	ルム	. !			能和()	提到	二氏	5,000	_		_		-	-		_		_	-	_		
^ ^	え					金		<b>‡利</b> -		1,500		-		-	-		-		-		-	_		
P2						金品の募集を	泊		校ラブ	2,860		-	外 人	形 2	-		-		-		-	-		
				į		東京	合		計	89,200	2	1,40		5	253	81	,250	2	1,40		5	7,950		2